

『自分のために、家族のために』

打田中学校 1年 出口 日菜子

「早く起きなさい。」

私の1日は母のこの一言ではじまる。母は毎日私を起こすことでイライラしていて、兄妹からも「いいかげんにしてよ。」とあきれられている。しかし、「なぜそんなにおこられるの？」

私も学校に遅刻しているわけでもないし、別に何の迷わくもかかっていないじゃないか。私の方こそ、みんなからえらそうに言われてイライラする。

本当に最近、家族からいろいろ言われて、責められることが多い。学校から帰ってきてゆっくりしていると、祖母からお手伝いをたのまれる。「後でする。」と言うと、「どうしてすぐにやってくれないの。」と言われる。私だって学校で勉強もクラブもがんばっているのに、ゆっくりしたい。母が帰ってくると、「制服をきれいにかける。」や「部屋をきれいに片付ける。」など、いちいちうるさい。文句を言うと、よけいにおこられる。「私だってがんばっているのに。」といってやりたい。

学校での私はおこられることなどない。小学校の時からそうだ。こんだんで先生が私のことをほめると母はいつも「学校では別人なんですね。」と言う。ほら、私は母が思っているのとはちがう。授業は先生の話をしっかり聞いている。学級代表や児童会をして学校やクラスのために働いてきた。それが楽しかった。けれど、学校でもイライラすることがある。学級会で話し合いをするとき、きちんと話を聞いてもらえない人や、仕事もてきとうにしている人が、みんなで決めたことを守ってくれないのに自己主張ばかりする。みんなで協力してがんばるからクラスや学校がよくなるのに、それを分かってくれないから本当に困る。「どうして周りのために動けないの。」といつも思う。

そんなことを兄に話すと、

「それ、お前と一緒にやん。」と言われた。

「え、私と一緒に？」初めはおどろいたけれどよくよく考えるとたしかに思いあたる……。

母は仕事に行かなければならないため朝からバタバタしている。弟や妹はきちんと起き、歩いて学校に行く。兄はよゆうをもって起きて家のお手伝いをしている。私は……。家のことはもちろん、自分のことすらきちんとできていない。祖母は私より58才年上だが洗たく物をたたんだり、料理を作ったり、習い事の送迎をしたり、私たちのためにたくさん働いてくれている。昨日も洗たく物をと

りこんでくれていたのは弟と妹だった。ご飯のあとの机をふいてくれていたのは兄だった。その時私は、スマホを見ていた。「みんなで協力しあうからよくなるのに。」と学校でイライラしていたこと。私は家族にこんな思いをさせていたんだと気がついた。「私もがんばっているのに。」と思っていたのが自己主張ばかりで、家族のがんばりに気づいていなかった。

私が今こうしてられるのは、家族の支えがあるおかげだ。みんな本当にありがとう。これからの自分にできることはもっと自分のことをきちんとすること。中学生としてたくさんのことを学んでいき、クラブでもいっしょうけんめいに精一杯がんばること。自分のために。そして、今までやってもらっていたことを恩返しするつもりで実行していこうと思う。

